

# 平和憲法・9条をまもる

## 岩手の会 ニュース No.229

2024. 11. 1

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

## すすめよう！「憲法改悪を許さない全国署名」 岩手の署名 32,042筆（～10月末。うち郵送352通・1,369筆）

### 「結成19周年のつどい」開催しました！

—「中津川九条をまもる」会—

9月27日に23名の参加で行いました。

最初に、8月の原水爆禁止世界大会に参加した盛岡医療生協川久保病院の医療事務課の久保美優さんより、映像を通して参加報告をしてもらいました。

「知ることは希望」で知ったことで次につなげられる。これからも事実を知ってもらい、多くの方に伝えていくために学んでいきたいと若い方からの心強い言葉がありました。また、8月6日の平和祈念式典、広島・原爆投下から79年世界に届ける子ども代表の「平和への誓い」。「願っただけでは、平和はおとずれません・・・」という言葉が心に残りました。

今は亡き会員の美濃部さんの戦争体験談の朗読も実施。事務局メンバーの中村アエさんからは、ご自身の戦争体験のお話をお聞きしました。昭和16年、太平洋戦争が始まった時に茨城県日立市で生まれ、4才の時に艦砲射撃と焼夷弾で家を失い、その後、国では疎開できる人は三日間列車が無料になると言われ、父親の郷里の岩手県に家族で疎開し、苦勞して勉学に励み看護学校に入学。今は戦争のない世の中を作るために二度と戦争をしないと決めた「平和憲法九



条」を活かす活動が大事だと話していました。

今回はいわて生協の「ピースカフェ」も一緒に行い、お茶を飲みながら折り鶴を折り、来年3月開催のピースアクション in オキナワに届ける取り組みをしたりと盛りだくさんでした。

来年は記念の20周年！「平和こそ宝」を合言葉に！これからも頑張っ

て続けていきたいです。（本多多津子）

○参加者からは以下のような感想が寄せられました。

・戦争体験を聞く機会はなかなかないので、今回アエさんのお話を聞くことが出来て良かったです。世界大会報告から戦争体験を通して9条の

大事さを改めて共通認識できたのかなと思いました。

- ・貴重な戦争体験を聞いて、涙が出てきそうになり我慢するのが大変でした。平和なことが日本では今、当たり前ですが、とても大切な事だということを実感しました。広島へ一度行って原爆ドームを見学したいと思います。
- ・本当に戦争は嫌ですね。平和だからこそ今の生活があり、いろいろな経験も出来る。それを全て奪うのが戦争で、人が人を殺すなんて。戦争をしたい人がいるとは思えないですが、そのやり方を間違えてはいけません。
- ・いろいろな媒体を通して戦争のことを知ることが出来、その都度いろいろな思いが沸き上がるが、その思いも生活に追われる中で忘れてしまう。年に一度でもこういう機会があれば、戦争に対する思いも止まるように思います。こういう機会に参加できたことに感謝します。「知ることは希望」良い言葉ですね。

「11月の岩手の会街宣行動」8日(金)12:15～12:45 盛岡市大通・野村証券前

ご都合のつく方は、ぜひご参加下さい。

岩手大学生協では、全国大学生協連が年1回実施している「Peace Now!」に4人の学生委員を派遣しました。今年度は9月3日～5日に開催され、被爆都市である広島、長崎、日本で唯一地上戦が行われた沖縄の3地域で被爆者講話、現地視察、フィールドワークを通じて実際に「見る」生の声を「聴く」参加者の想いや考えを「話す」ことをしてきました。事前には、教職員総代や店頭での募金活動を取り組んできました。参加後は、大学祭で報告活動を行いました。今後も、持続可能で平和な社会実現のための活動を行っていきます。

今回は2人の参加者の感想を紹介します。



## 様々な学びをつなぎ、広げていきたい

Peace Now Okinawa! では、体験型の平和学習をすることができました。沖縄県が現日本領土の中で唯一地上戦が行われた場所ということもあり、フィールドワークでは戦争の痕跡を自分たちで発見したり、当時そこで何が行われていたのかを考察することも可能でした。

今回の参加者の多くが西日本の学生であり、小学校・中学校で平和学習に参加しています。東北にはそういった学習に適した場所がないことが課題に感じられました。ここでの様々な学びを学内外問わずつなぎ、広げていきたいです。(岩田陽輔)

## 得た学びを多くの人に伝え、平和について考えてもらいたい

Peace Now! 2024 Okinawaに参加し、沖縄県にて平和について学習して参りました。セミナー中には、フィールドワークで実際に戦場となった場所をまわったり、戦争体験者の講話を聞くことができる記念館等の施設を訪れたりして、戦争の凄惨さを考える機会となりました。またグループワークで平和について考える機会があり、自分の平和観に展望を持つことができました。セミナーを通して、得た学びを多くの人に伝えて、様々な人に平和について考えてもらいたいと思っています。(平賀天音)



## 対ロ「戦勝計画」(を) ウクライナ (が) 発表、5項目、一部非公開

ロシアのウクライナ侵略戦争、一日でも早く終わってこないかなー。ちょっと気になる報道を見てみよう!

【'24・17・17 キーウ共同】対ロ戦争来年中終結「可能」(と) ゼレンスキー氏 (が) 勝利計画 (を) 演説…他に次の「しんぶん赤旗報道」を見てみましょう。【'24・10・18 しんぶん赤旗】対ロ「戦勝計画」(を) ウクライナ(が) 発表 5項目、一部非公開 ウクライナのゼレンスキー大統領は16日、最高会議(議会)で演説し、侵略国ロシアに対する「戦勝計画」の概要を発表しました。2025年末までに侵攻を終わらせるべく、プーチン政権に「平和を余儀なくさせる」のが目的と説明。計画の成否は戦争を望むプーチン政権ではなく、支援する西側諸国に懸かっていると呼びかけました。

戦勝計画は①北大西洋条約機構(NATO)加盟交渉②ウクライナ防衛と対ロ越境攻撃③さらなる侵略阻止のための非核兵器配備④米・欧州連合(EU)との経済合意⑤戦後の欧州防衛体制一の5項目。②③④の3項目は全容を米国など支援国に伝える一方、一部は非公開となりました。

ゼレンスキー氏は、対ロ圧力強化に向けて年内に第2回「平和サミットを開催し、戦勝計画にお墨付きを得たい考え。ロシアは求められている参加を拒否する構えで、ペスコフ大統領報道官は16日、戦勝計画について「最後の一人になるまでウクライナ人を戦わせる米国の計画と同じだ」と決めつけました。(時事)

コラム子は、ゼレンスキー大統領は米国などの側に偏ってはいないだろうか?と思います。やはり、国連の仲裁を得る形を取り、ASEANによる米中ロも参加する、包摂的国際会議の形による国際会議によらなければ平和の実現は期待されないではないでしょうか。そのとき、日本国憲法下の日本国政府の平和外交行動は最も期待されるのではないではないでしょうか!!! (T)